

## 仕様書

### 【超音波画像診断装置】

#### 1. 調達物品名及び構成内容

超音波画像診断装置 一式

内訳

カタログ番号	品名／規格	数量	単位
ARIETTA 650DeepInsightS	超音波画像診断装置 本体	1	式
JW-3000U	ゼリーウォーマー	1	式
SSZ-X311	白黒プリンタ	1	式
EU-9210	HDMI モニタ接続ユニット	1	式
TGT-L43LAP_9C#	ラパロ下術中用リニアプローブ	1	式

その他付属品、配送、搬入、組立、据付、接続、調整、説明及びこれらに係る作業を含む。

#### 2. 調達物品に備えるべき技術的要件

1. 装置筐体サイズについては、540(W)×750(D)mm以下であること。
2. 画面表示モニタは 21.5 インチ以上の LCD ディスプレイで、左右上下方向に位置調整が可能であること。
3. 4 本以上の探触子を同時に装着し、操作パネルで切り替えて使用が可能であること。
4. 10.1 インチ以上のタッチパネルを搭載していること。
5. ゼリーウォーマーは装置本体に搭載されていること。
5. 白黒プリンタについては感熱方式であり、用紙の幅は 105 mm 以下であること。
6. ロボット手術において使用できるプローブが接続可能であること。また、ロボット装置に超音波画像が出力できること。
7. B モードにおいてはゲインや TGC を、ドプラモードにおいては流速やベースラインをワンタッチにて自動で調整する機能を有すること。
8. カラードプラ機能およびパワードプラ機能を有していること。
9. 2 つの異なるサンプルポイントにてドプラ波形を表示する機能を有していること。
10. ラパロ下術中用リニアプローブには、先端部に目盛りが設けられており、その目盛りに一致したラインを超音波画像上に表示できること。
11. ラパロ下術中用リニアプローブは、2～13MHz 以上を満たす周波数帯域を送受信できること。

12. ラパロ下術中用リニアプローブは、先端部が上下・左右に各最大 110° まで湾曲が可能であること。
13. ラパロ下術中用リニアプローブには 2 つ以上の穿刺孔が設けられていること。
14. ラパロ下術中用リニアプローブには先端部に目盛りが設けられており、その目盛りに一致したラインを超音波画像上に表示できること。

### 3. その他

1. 仕様書の表現を独自の判断で解釈することなく、必ず詳細は事前に当院に確認すること。
2. 入札機器は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく医療用具の承認を得ている物品であること。
3. 取扱説明に関する教育訓練を発注者が指定する日時・場所で行うこと。